

第1期まち・ひと・しごと米原創生総合戦略に 関する評価検証（中間整理）



令和元年 8 月
政策推進部政策推進課

1 はじめに

(1) 総合戦略の位置付け

本戦略は、人口減少に立ち向かい、持続可能な米原の未来を切り拓いていくための根幹となる政策の方向性を共有し、様々な主体との協働などを通して、オール米原で地方創生の取組を推進していくための戦略です。

(2) 総合戦略の計画期間

2015年度（平成27年度）から2019年度（令和元年度）までの5年間の計画期間とします。

(3) 総合戦略の推進(PDCA)

戦略の推進に当たっては、施策の企画・政策形成の中核として地方創生推進本部（本部長：市長）を設置し、地域に寄り添った市民目線の施策を実践していくとともに、優先順位を明確化し、困難な課題にも既成概念に捉われない柔軟な発想で果敢に挑んでいきます。また、多様な主体と課題を共有し、知恵や力を結集しながらこれらを推し進めていくことで、課題解決を図ります。

さらに、施策の効果的な実施を目指し、市民意識調査などによる直接評価に加え、有識者会議での評価・進捗チェック・改善アドバイスが施策につながるPDCAにより、成果にこだわる戦略としていきます。

(4) 第1期まち・ひと・しごと米原創生総合戦略の振り返りの状況

本資料では、第1期まち・ひと・しごと米原創生総合戦略に掲げた取組について、基本目標、数値目標およびKPIと比較して2018年度（平成30年度）までに取り組んだ施策や事業の実績を検証しました。

基本方針である「3世代100年にわたって『住んでよかった』と実感されるステキな米原を築く」のコンセプトのもと、基本目標に掲げた「女性や若者が活躍するまちを創る」、「若年世帯が移り住むまちを創る」、「滋賀県一子育てしやすいまちを創る」、「駅を核として、地域と地域を結ぶステキなまちを創る」の実現に向けて各施策に取り組み、地方創生の推進に資する効果を挙げることができました。

また、これらの取組の状況について、米原市まち・ひと・しごとに関する有識者会議を開催し、様々な分野の有識者の皆様から御意見をいただきました。

各事業の詳細な進捗状況については、戦略策定のベースとした「米原市総合計画実施計画（第9・10期版）」、「第2次米原市総合計画アクションプラン（第1～3期版）」において取りまとめ、評価を実施し、公表しています。

今後は、社会情勢を踏まえながら、地方創生に資する効果が高い施策等については、引き続き確実に推し進め、より高い成果を目指すとともに、目標達成に課題が生じているものについては、打開策を工夫するなど、柔軟に粘り強く対応していきます。

2 総合戦略

基本目標 1 女性や若者が活躍するまちを創る

基本的方向性

近隣市も含め通勤エリアに多くの企業の生産拠点が存在し、雇用の受け皿は相応に存在している一方で、若者が大都市や滋賀県南部に流出する傾向が見られます。企業を誘致して雇用を増やすのではなく、若者がチャレンジしたいことを実現することで新しい産業を地域に根付かせていくことが重要であり、地域イノベーションの推進を図るプラットフォームを設置し、地域産業の活性化と米原市の新しいしごとの創出に取り組み、女性や若者が活躍するまちとしての雰囲気と新しい活力を創造します。

数値目標

| 数値目標（数値は2019年度における目標） | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|---------------------------|--|----------|--------|--------|--------|
| 若年層（15～29歳）の完全失業率 | 5.00% | 国勢調査による。 | | | |
| 「(仮称)新・まいばら協働事業提案制度」の提案件数 | 60件(累計) | 0 | 5 | 17 | 31 |
| | 【評価】目標達成に向けて進捗している (数値目標あり・現時点で目標未達成) | | | | |

施策 1 地域イノベーションを生み出す仕組みの構築

これまでから実施しているまいばら協働事業提案制度に加えて、2016年度から「起業・創業」を軸とした地域イノベーションの創出を後押しする仕組みとして、米原創生官民連携パートナーシップ事業を開始し、また、地域課題を解決するクラウドファンディングを支援することで地域イノベーションや地域資源活用、地域人材の掘り起こしを図りました。

さらに、女性や若者が創業しやすいまちを目指して米原市商工会と連携して米原ドリーム創業塾を開催し、市内での創業を後押しする補助制度を創設しました。



▲クラウドファンディングの実施

KPI

| 数値目標（数値は2019年度における目標） | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|---------------------------|---------|--------|--------|--------|--------|
| 「(仮称)新・まいばら協働事業提案制度」の提案件数 | 60件(累計) | 0 | 5 | 17 | 31 |
| 支援制度を活用した女性・若者起業者数 | 30件(累計) | 1 | 0 | 2 | 0 |

施策2 地域産業の活性化

市の主要な産業である農業の付加価値生産性の改善や農業の担い手育成を図るため、2017年度から米原創生官民連携パートナーシップ事業を活用して先進IoTを活用した園芸農業の普及促進に取り組み、新たな雇用の創出と6次産業化に取り組みました。また、新規就農や農業用機械購入時の補助制度により新規就農者を包括的に支援するとともに新規就農希望者等の受入れに対しても支援を行いました。さらに「人・農地プラン」の作成・更新等により、農地の集積を促進しました。

本市の特産品である伊吹そばについては地理的表示保護制度（GI）を目指し、6次産業化やウェブサイト構築による普及促進を図りました。

林業においては、2017年10月から自伐型林業みらいづくり隊3名を委嘱し、東草野地域での里山資源の循環による地域経営を進めました。

また、米原市特産品を扱うECサイト「オリテ米原」や米原市ふるさと納税と連携することで販路拡大と認知向上を図り、地域産業の活性化を図りました。



▲GIの認証マーク



KPI

| 数値目標（数値は2019年度における目標） | | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|--|---------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 企業連携による6次産業化 | 10件(累計) | 0 | 1 | 6 | 7 | |
| 支援制度を活用した新規就農者数 ※〔〕は支援なしの新規就農者を含めた数 | 15人(累計) | 0 〔0〕 | 1 〔1〕 | 3 〔5〕 | 3 〔5〕 | |

施策3 新産業の創出

民間企業等と連携して新産業を創出し、しなやかな産業構造をつくるため、2016年度に新幹線直結のビワイチ出発拠点を米原駅に設置し、NPO法人によるレンタサイクル・サイクルツーリズム事業の構築を推進するとともに、2018年度には民間事業者のインバウンド向けツアー会社の設立を支援しました。

また、産官学連携により米原駅周辺の活性化を推進し、にぎわいを呼び込むため、2016年度に企業と連携して小中学生の健康増進に関する共同研究を、大学と企業と連携したスポーツ・サイエンス拠点の誘致を検討しました。

現在、民間主導で継続してスポーツを核としたまちづくりの検討を進めています。

なお、観光産業の振興を図るためのDMOの設立については、継続して関係者と協議しており、民間主導での設立を検討しています。



▲レンタサイクルの案内サイトでは市内の周遊コースも紹介



▲インバウンドツアー会社のツアー紹介ページ

KPI

| 数値目標（数値は 2019 年度における目標） | | 2015 年度 | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 |
|---------------------------------------|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 大学・企業等と連携し「スポーツ・サイ エンスPJ」立上げ | 1 件 (立上げ) | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 観光入込客数 20%増 ※ [] は支援なしの新規就農者を含めた数 | 1,982 千人 | 1,821 | 1,738 | 1,765 | 1,691 | |

基本目標 2 若者世帯が移り住むまちを創る

基本的方向性

本市は、鉄道 4 路線が乗り入れる滋賀県唯一の新幹線停車駅・米原駅を中核に 5 つの JR 駅が存在し、極めて高い大都市アクセス性を有している一方、郊外には豊かな自然が広がり、「日本の文化を大切にしたい、生きる楽しみを手づくりできる暮らし」が残っています。このような特性を生かし、大都市に近接しながらも、自らの生活スタイルを自らが主体的につくることができるという喜びと楽しさが広がる特色ある地域の魅力を発信し、移住・定住につながる新しい人の流れを創出します。

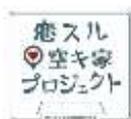
数値目標

| 数値目標（数値は 2019 年度における目標） | | 2015 年度 | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 |
|--|---------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|------------|
| 人口ビジョンにおける 20-30 代の人口計画（基準シナリオ）達成率 100% ※評価年度の各数値は住民基本台帳人口による。以下同じ。 | 8,598 人 | 8,711 101.31% | 8,545 101.47% | 8,452 99.85% | 8,269 97.18% | |
| 【評価】 目標達成に向けて進捗している (数値目標あり・現時点で目標未達成) | | | | | | |

施策 1 米原市内移住者への支援

米原市を評価して移住する I ターンや就職後の U ターンを促進するため、移住・交流地域おこしフェアや大阪での移住イベントに出店しました。また、長浜市との共催により実施してきた東京での学生面接会については、2017 年度から市内へ学生を呼び込むインターンシップ事業に変更し、就業体験や企業との交流により就業を促進しました。

また、2017 年度から空き家対策研究会とともに「恋する空き家プロジェクト」を実施し、空き家を活用した UI ターンを促進しています。



空き家に恋した人たち

空き家移住者に関心し、
住みたいけれど躊躇うばかりのあなたに、
お話を聞いてあげよう。



▲大学生を米原市に招いて市内企業と交流するインターンシップ事業

◀恋する空き家プロジェクトでは
空き家移住者の声も紹介しています。

KPI

| 数値目標（数値は2019年度における目標） | | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|--------------------------------------|--------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|--------|
| 人口ビジョンにおける20-30代の人口計画（基準シナリオ）達成率100% | 8,598人 | 8,711 101.31% | 8,545 101.47% | 8,452 99.85% | 8,269 97.18% | |
| 東洋経済新聞社「住みよさランキング」 | 20位以内 | 82 | 94 | 100 | 200 | |

※東洋経済新聞社「住みよさランキング」は2019年版から評価基準が変更されたため、2018年度以後は目標との比較ができなくなっています。評価ができないため、KPIの目標設定値を見直します。 【見直し案】 KPI 20位以内 → KPI 150位以内

施策2 米原市圏域およびJR徒歩圏への人口流入支援

米原駅および坂田駅周辺の住宅開発が進む中、名古屋や京都に勤務する若年世帯の社会人口増を図るため、2015年度から2017年度にかけてJR3駅（柏原・近江長岡・醒ヶ井）周辺への移住定住および共同住宅建築費用の助成を行いました。また、2018年度から移住定住と地域経済活性化を図るため、子育て世代を中心とした住宅リフォーム助成を創設しました。さらに、2016年度からは、JR3駅の駅前整備事業に取り組み、利便性の向上を図っています。

また、2019年度から既存集落内での宅地開発に対して補助制度を創設し、人口減少が進む集落内での宅地開発を促進するとともに、民間開発が期待されるエリアでの開発基準を緩和し、人口流入の促進を図っています。

KPI

| 数値目標（数値は2019年度における目標） | | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|--------------------------------------|--------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|--------|
| 人口ビジョンにおける20-30代の人口計画（基準シナリオ）達成率100% | 8,598人 | 8,711 101.31% | 8,545 101.47% | 8,452 99.85% | 8,269 97.18% | |

施策3 都市農村交流を契機とした地方移住の本格推進

「大都市との高いアクセス性」と「日本の文化を大切にしたい、生きる楽しみを手づくりできる暮らしが残る地域」という特徴を生かした移住・定住を促進するため、米原市シティセールスプランに基づき、シティセールスサイトやシティセールス動画、「るるぶ特別編集 米原市」（2015年度）、「まいばら水綺譚」（2018年度）の発行を通じて広く情報発信したほか、米原の“こちよさ”を体感できる里おこしイベント「伊吹の天窓」の開催や「米原水」の販売などを実施しました。また、首都圏と米原をつなぐ取組として、「和のあかり×百段階段」（ホテル東京雅叙園・2016～2018年度）への出展や首都圏から米原へ訪れる魅力満載ツアー（2018年度）を開催しました。

外部の視点から「米原暮らし」の良さを発信するため、2016年2月から水源の里まいばら民藝創生プロジェクトを実施し、2人の地域おこし協力隊を任命（任期2年間）し、任期終了後も市内に定住しています。

移住に関して、地域とのかかわりを理解する世帯の節度ある移住を推進するため、まいばら空き家対策研究会での空き家紹介に際しては、併せて地元区長への紹介を行うよう制度構築を図っています。



▲差とおこしイベント「伊吹の天窓」



▲和の明かり×百段階談 2018の様子



▲みらいづくり退院となった安達さん（左）と林さん（右）

KPI

| 数値目標（数値は2019年度における目標） | | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|--------------------------------------|--------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|--------|
| 人口ビジョンにおける20-30代の人口計画（基準シナリオ）達成率100% | 8,598人 | 8,711 101.31% | 8,545 101.47% | 8,452 99.85% | 8,269 97.18% | |

基本目標3 滋賀県一子育てしやすいまちを創る

基本的方向性

地域ぐるみによる真のワークライフバランス実現を推進するとともに、「暮らし・健康・子育て・教育・文化」に係るきめ細やかな施策を展開し、米原および近隣に居住する若年層世帯の助成の満足度を高め、「県内一子育てしやすいまち」の実現を目指します。

数値目標

| 数値目標（数値は2019年度における目標） | | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|-------------------------------------|---|------------------|------------------|------------------|------------------|--------|
| 人口ビジョンにおける0-14代の人口計画（基準シナリオ）達成率100% | 4,792人 | 5,282 101.46% | 5,169 100.88% | 5,130 101.75% | 5,051 101.83% | |
| ※評価年度の各数値は住民基本台帳人口による。以下同じ。 | 【評価】目標達成に向けて進捗している (数値目標あり・現時点で目標達成) | | | | | |

施策1 働き方改革・仕事と生活の調和の実現

市全体でワークライフバランスを実現するため、毎年実施する市内企業訪問において、公正採用や働き方改革等について聞き取り、助言を行いました。

また、創業者支援制度（2015年度～）や米原創生官民連携パートナーシップ事業（2016年度～）を開始し、創業者支援制度においては女性と若者の補助率を引き上げるなど女性の起業・創業を支援しています。



▲創業セミナーのチラシ

KPI

| 数値目標（数値は 2019 年度における目標） | | 2015 年度 | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 |
|---|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 女性の活躍見える化プロジェクトに参画する市内企業数（滋賀県女性活躍推進企業認証企業・累計） | 5 社 | 0 | 0 | 2 | 6 | |

施策 2 子ども・子育て支援

子どもへの教育・保育の総合的な提供を図るため、認定こども園への移行を進めるとともに、子育てをしながら働く女性を応援するため、放課後児童クラブの運営とともに、新たに病児保育（2015 年度～）、延長保育事業（2017 年度～）、幼稚園型一時預かり事業（2018 年度～）を実施しました。

また、外国籍の外国語指導助手と英語教育指導員により英語教育の充実を図る中、2018 年度からホストタウン事業の一環としてスポーツ国際交流員（SEA）を採用し、スポーツを生かした英語力と国際感覚の向上を図っています。

さらに、青山学院大学と包括連携を締結し、青学×MAIBARA 駅伝（2017 年度～）を開催するなど、大学と連携した市独自の取組も実施しました。



▲SEAに着任したミッチェル・スローンさん（右から3番目）

KPI

| 数値目標（数値は 2019 年度における目標） | | 2015 年度 | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 |
|--|---------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------|
| 人口ビジョンにおける 0-14 代の人口計画（基準シナリオ）達成率 100% | 4,792 人 | 5,282 101.46% | 5,169 100.88% | 5,130 101.75% | 5,051 101.83% | |

施策 3 総合的な少子化対策の推進

国に先駆けて第 2 子以降の保育料の軽減や中学生以下の医療費無料化により子育て世代の負担軽減を図る中、2018 年度から市独自の給付型奨学金制度を開始し、進学の後押しと就学後の市内への定住を促進しています。また、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行うため、2017 年度に子育て世代包括支援センターを設置して相談体制の整備し、総合的な子育て支援の充実を図りました。

地域での支え合いによる子育て支援施策として、2015 年度からファミリーサポートセンター事業を開始し、また、小学生の学力の 2 極化を解消するため、2018 年度から小学校 3 年生への放課後補充授業を開始しています。



KPI

| 数値目標（数値は 2019 年度における目標） | | 2015 年度 | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 |
|--|---------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------|
| 人口ビジョンにおける 0-14 代の人口計画（基準シナリオ）達成率 100% | 4,792 人 | 5,282 101.46% | 5,169 100.88% | 5,130 101.75% | 5,051 101.83% | |
| 近世代共住・近住等の施策・制度の実施件数 | 5 件 | 0 | 0 | 3 | 4 | |

基本目標 4 駅を核として、地域と地域を結ぶステキなまちを創る

基本的方向性

滋賀県随一の交通社会資本を有する強みを最大限に生かし、米原駅周辺への都市機能の集積を進め、まちの核をつくります。また、市民の暮らしの安心と利便性を確保しつつ、時代に合った地域の拠点づくりを進めるとともに、拠点や駅などを新しい公共交通ネットワークで結ぶ「コンパクト+ネットワーク」を形成し、持続するまちの将来を創造します。

数値目標

| 数値目標（数値は 2019 年度における目標） | | 2015 年度 | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 |
|-------------------------|---|------------|------------|------------|------------|------------|
| 米原駅周辺の基準地価 10% 上昇 | 米原 1 76,500 円/m ² | 68,800 | 68,600 | 68,600 | 68,700 | |
| | 米原 5-1 83,000 円/m ² | 74,800 | 74,600 | 74,600 | 74,600 | |
| | 【評価】 目標達成に向けて進捗している (数値目標あり・現時点で目標未達成) | | | | | |
| 小さな拠点の整備エリア数 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 【評価】 目標達成に向けて進捗している (数値目標あり・現時点で目標未達成) | | | | | |

施策 1 米原市の核（コア）となるべき米原駅の都市機能強化

新幹線停車駅・米原駅に滋賀県の玄関口にふさわしいにぎわいを創出するため、民間企業と連携し、米原駅東口まちづくり事業に取り組み、2022 年の供用開始を目指しています。また、米原駅東口に新たに市役所統合庁舎を整備することとしており、2021 年の開庁を目指しています。さらに、米原駅のほか、JR 東海道本線 3 駅の沿線価値の向上を図り、名古屋圏からの人口流入を促進するため、JR 東海道本線 3 駅への移住促進支援や駅前整備を行っています。



▲米原駅東口まちづくりイメージ図

KPI

| 数値目標（数値は2019年度における目標） | | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|-----------------------|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 市内JR駅一日平均乗車人数20%増 | 16,189人 | 14,074 | 14,353 | 14,517 | 14,452 | |
| 米原駅周辺の基準地価10%上昇 | 米原1 76,500円/㎡ | 68,800 | 68,600 | 68,600 | 68,700 | |
| | 米原5-1 83,000円/㎡ | 74,800 | 74,600 | 74,600 | 74,600 | |

施策2 小さな拠点および米原駅を核とした交通ネットワークの形成

市民が主体となった支え合い活動である地域お茶の間創造事業や地域課題を多様な主体で共有して解決を支援する地域支え合いセンターを運営し、地域が主体となり支え合う地域コミュニティの維持を図るとともに、2017年度にはコミュニティタクシー事業の拡充と路線バス運行の見直しにより、利便性の向上と持続可能な公共交通ネットワークの形成を図りました。



▲乗合タクシー
まいちゃん号利用ガイド▶

KPI

| 数値目標（数値は2019年度における目標） | | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|-----------------------|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 小さな拠点の整備エリア数 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 新しい交通ネットワークの実証開始 | 実証開始 | — | — | 開始 | | |

施策3 既存ストックのマネジメント強化

空き家の放置が社会問題となる中、空き家の利活用を図るため、2015年に「米原市空家等の発生予防、管理および活用の推進に関する条例」を施行し、まいばら空家対策研究会（2017年度～）との協働を推進するとともに、びわ湖の素・米原住宅リフォーム補助（2018年度～）や特定空家等除去支援補助金、空家等家財道具処分補助金（2019年度～）、空家等サポーター制度（2019年度～）により空き家等の利活用と良好な景観の保全を図っています。2018年度には古民家の体験移住施設への改修を補助するとともに、（一社）古民家再生協会滋賀を地域再生推進法人※に指定し、空き家を活用した宿泊・体験型ツーリズムの構築に取り組んでいます。また、統合庁舎の整備に伴い、公共施設の利活用を検討しており、山東庁舎の利活用に向けた改修や近江・伊吹庁舎の跡地利用に向けて検討しています。



※地域再生推進法人：地域再生を推進するため、地域住民に近い立場でのコーディネーター役として、地方自治体の補完的な立場で地域再生の推進に取り組む組織として地方自治体が指定する法人

KPI

| 数値目標（数値は2019年度における目標） | | 2015 年度 | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 |
|-----------------------|-------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 空き家の改修・修繕・利活用棟数 | 5（累計） | 1 | 0 | 0 | 4 | |
| 既存ストックの維持管理・利活用の実証件数 | 5（累計） | 2 | 5 | 7 | 7 | |

2 地方創生推進関連交付金の活用

ビワイチ推進プロジェクト

概要

滋賀県全体でビワイチを推進する中、ジャパンエコトラックルートの継続普及やサイクリングイベントの継続開催などにより認知度の向上を図ることで県内唯一の新幹線停車駅・米原駅をビワイチの起点としての定着を図ります。また、サイクリストの期待と満足度を高めるため、市内の宿泊拠点や休憩拠点を整備するとともに周遊先コンテンツを磨き上げることで市内滞在時間の延長と市内周遊の円滑化を促進し、本市への新しい人の流れを拡充することで地域経済の活性化を図ります。

実施年度

2016～2020 年度

主な事業(実績)

- ・新幹線駅直結のサイクルステーションの設置・運営
- ・ジャパンエコトラック登録とジャパンエコトラックルートの深化
- ・市民団体との連携によるサイクリングコース設定
- ・ビワイチ宿泊拠点（グリーンパーク山東コテージ）の整備
- ・ビワイチ休憩拠点の整備（伊吹山インフォメーションセンター）
- ・伊吹山ライブカメラの設置
- ・サイクリングイベント「びわ湖の素・米原グルメライド」の開催
- ・市内でのサイクリングガイドツアーへの支援
- ・ビワイチ観光拠点石田三成ゆかりの地観音寺でのイベント開催



▲米原駅レンタサイクルステーション



▲ビワイチ宿泊拠点（グランエレメント内）



▲ビワイチ観光拠点 観音寺



▲伊吹山ライブカメラの様子



▲ジャパンエコトラックルートマップ



▲びわ湖の素・米原グルメライドのチラシと開催の様子

KPI

| KPI（滋賀県全体） | | 事業開始前 | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 |
|----------------------------|--------|---------|---------|-----------|-----------|
| ビワイチ推進による日帰り客・宿泊客の増 | 目標（人） | 52,000 | 71,600 | 91,200 | 120,600 |
| | 実績（人） | | 72,000 | 92,000 | 集計中 |
| ビワイチによる日帰り・宿泊客の増加による経済波及効果 | 目標（千円） | 614,000 | 876,000 | 1,138,000 | 1,531,000 |
| | 実績（千円） | | 881,200 | 1,148,400 | 集計中 |

THE 近江・魅力満載プロジェクト

概要

琵琶湖をはじめ、滋賀ゆかりの素材について、県、市町や民間等と連携して魅力を磨き上げ、国内外に発信するとともに、多様な主体が参加、連携し、観光をキーにまちづくりに取り組み、観光振興のレベルアップと地域の活性化を図りました。なお、市では、主にシティセールス事業として事業を実施しています。

実施年度

2016～2018 年度

主な事業（実績）

- ・シティセールス専用サイトの運用
- ・里おこしイベント『伊吹の天窓』
- ・首都圏でのシティプロモーションの実施
「和のあかり×百段階段」
ここ滋賀のイベント活用（まるごと滋賀コレクションなど）
カートラ JAPAN2018（幕張メッセ）
早川鉄兵トーク&切り絵ワークショップ
- ・首都圏からのツアー開催（「furete 米原 魅力満載ツアー」）
- ・シティセール情報誌の作成（まいばら水綺譚）



▲伊吹の天窓



▲シティセールスサイト



▲首都圏でのイベントの様子



▲切り絵ワークショップ



▲まいばら水綺譚



▲furete 米原魅力満載ツアー

KPI

| KPI（滋賀県全体） | | 事業開始前 | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 |
|------------|--------|-------|---------|---------|---------|
| 延べ宿泊者数 | 目標(万人) | 333 | 370 | 385 | 400 |
| | 実績(万人) | | 378 | 385 | 集計中 |
| 延べ観光入込客数 | 目標(万人) | 4633 | 4,800 | 4,900 | 4,935 |
| | 実績(万人) | | 5,077 | 集計中 | 集計中 |
| 観光消費額 | 目標(億円) | 1583 | 1,640 | 1,670 | 1,700 |
| | 実績(億円) | | 1,735 | 集計中 | 集計中 |

「スポーツレガシー」を生かしたインバウンド獲得プロジェクト

概要

ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピック開催などスポーツゴールデンイヤーを迎える中、ホストタウンの登録やワールドマスターズゲームズ 2021 関西のホッケー会場となったことを契機として、滋賀県唯一の新幹線停車駅・米原駅を有するポテンシャルを生かし、外国人旅行客の受入拡大を推進するため、外国人向けツアーや市内伝統工芸の体験メニュー化を図り、インバウンド需要の獲得による地域経済活性化を図ります。

実施年度

2018～2020 年度

主な事業（実績）

- ・インバウンド向けツアー会社設立支援
- ・木彫の里上丹生での体験メニュー構築
- ・伝統工芸を活かした木彫アクセサリー
(ホストタウン事業は別途実施)



▲インバウンドツアー会社のウェブサイト



▲上乳木彫体験では外国人に模擬体験を実施



▲木彫アクセサリー-KIKIの商品

KPI

| KPI | | 事業開始前 | 2018 年度 | 2019 年度 | 2020 年度 |
|--------------------------|--------|-------|---------|---------|---------|
| 米原駅近隣施設での外国人宿泊客数 | 目標 (人) | 2,600 | 2,700 | 3,000 | 4,000 |
| | 実績 (人) | | 3,416 | | |
| 外国人向けの特産品体験プログラム・ツアーの造成数 | 目標 (個) | 2 | 2 | 3 | 5 |
| | 実績 (個) | | 4 | | |
| 外国人向け体験ツアー・プログラムの参加者数 | 目標 (人) | 0 | 40 | 60 | 100 |
| | 実績 (人) | | 4 | | |

「戦国・びわ湖」体験・体感ツーリズム深化プロジェクト

概要

大河ドラマ「麒麟がくる」放映の機会を生かし、滋賀県全体で戦国時代をテーマとした観光キャンペーンを展開し、魅力を発信するとともに、宿泊・体験型観光の充実・深化を図り、「滞在したいまち」「もう一度訪れたいまち」となるような地域づくりに滋賀県と連携して取り組みます。米原曳山祭の開催や戦国ロケット流星の打ち上げを支援するとともに、在来種「伊吹そば」を活かした体験メニューの構築、戦国・歴史資産を活かしたサイクリングツアーの実施などにより、新たな人の流れをつくり、地域経済活性化を図ります。

実施年度

2019～2021 年度

主な事業（予定）

- ・米原曳山祭 3 基そろい踏みへの支援
- ・戦国ロケット流星の打ち上げ
- ・在来種「伊吹そば」の PR と体験メニュー化
- ・戦国・歴史資産を活かしたサイクリングツアーの開催
- ・米原駅へのデジタルサイネージの導入



▲石田三成ゆかりの観音寺



▲伊吹山とそばの花（11月頃）



▲徳源院の紅葉（11月下旬）



▲米原曳山祭（10月上旬）



▲戦国ロケット「流星」

KPI

| | | 事業開始前 | 2019 年度 | 2020 年度 | 2021 年度 |
|------------------------|--------|-------|---------|---------|---------|
| 戦国にまつわる観光施設 の観光入込客数 | 目標（万人） | | 173 | 175 | 176 |
| | 実績（万人） | 171 | | | |
| 観光消費額 | 目標（億円） | | 1,870 | 1,910 | 1,955 |
| | 実績（億円） | 1,793 | | | |
| 延べ宿泊者数 | 目標（万人） | | 410 | 420 | 435 |
| | 実績（万人） | 387 | | | |